

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	排水設備検査事務	コード	01-01-10-09
		担当課・係	下水道課維持管理係
		担当者	瀬尾 茂樹
事業実施期間	昭和57年～	電話	0869-66-9701
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	下水道	

事業について	
目的 (何のために)	適正な施工方法・維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また下水本管や処理場のトラブルを防ぎ施設の維持管理費の増加を防ぐ。
対象 (誰・何を対象に)	下水道、農業集落排水施設及び漁業集落排水施設並びに個別排水処理施設に接続して汚水を処理しようとする人。
内容	排水設備工事申請書の施工方法等書類により審査し、基準に適合の場合は工事許可書を発行。工事終了後、提出された排水設備完工届の書類検査と設置場所での現地検査を行なう。現地検査後、使用者に排水設備の使用・維持管理方法を説明する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
排水設備検査件数	335 件	318 件	
排水設備不適合件数	13 件	10 件	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 0 人件費 7,875 合計 7,875	直接補助金等 0 委託費負担 0 市債 0 一般財源等 7,875	直接事業費 0 人件費 6,600 合計 6,600
			直接補助金等 0 委託費負担 0 市債 0 一般財源等 6,600
			合計 0

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

必要人員	120 人	105 人	
結果指標	結果指標名	排水設備検査件数	排水設備検査件数
	結果指標量	335	318
	単位	件	件
	対前年比	—	94.93%
	活動にかかるコスト	7,875,000 円	6,600,000 円
	単位当たりコスト	23,507 円	20,755 円
結果指標	結果指標名	排水設備不適合件数	排水設備不適合件数
	結果指標量	13	10
	単位	件	件
	対前年比	—	76.92%
	活動にかかるコスト	円	円
	単位当たりコスト	円	円

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	適正な施工方法や維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを回避し維持管理費の増加を防ぐ。		
成果指標名	完工検査改修率	式又は説明	設置基準不適合件数 ÷ 排水設備完工件数 × 100
成果指標量	17年度 4	18年度 3	
対前年比	—	81.58%	0.00%
到達目標値	0	到達目標年度	平成21年度

(平成18年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 < A ~ E >	B
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 下水道法、備前市下水道条例)	課題認識  適正な施工方法や維持管理方法の徹底は排水設備を管理していくうえで必要なものであり目的は妥当である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	効率性評価 < A ~ E > B 課題認識  必要人員が減少したため、単位当たりのコストが削減できた。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価 < A ~ E > B 課題認識  下水道協会岡山県支部と連携し責任技術者（排水設備工事施工者）の技術レベルの向上と排水設備基準の周知を図る必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 前年度と同様、適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を徹底している。
目標値	結果指標量 320	結果指標量 6	
	成果指標量 2		

総合評価	今後も継続して、下水道協会岡山県支部と連携し責任技術者の技術レベルの向上と排水設備設置基準の周知を図る一方で、各接続者にも維持管理方法の周知を図る必要がある。	評価区分 < A ~ E > B
------	---	---------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	責任技術者の技術向上と設置基準の周知及び接続者への維持管理方法の周知	H19～	安心して使用できる排水設備